

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃部一般管理				整理番号	680		枝番号					
担当部課名		環境清掃部 環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	717			
係名 庶務係					上位施策名					No				
予算事業名 環境清掃部一般管理					コード	65100		環境施策の枠組みづくり			16			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				5 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区組織条例									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 環境清掃部職員				(2) 杉並区職員の旅費に関する条例									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ・職務上必要な出張時の旅費等の費用弁償 ・業務上必要な事務用品類の購入及び事務機の保守等 ・部内各課の連絡調整				(3) 職員標準事務取扱要綱									
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境清掃事業の円滑な運営									
(1) 環境清掃部職員数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 予算執行率 (2)										
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度		目標値	目標値に対する15年度の達成率%		
							計画	実績	計画	年度				
指標	活動指標(1)		人	404		396		380		380		362		
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	58.80		61.30		100.00		47.80		100.00		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,160		2,588		4,479		2,143		4,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	63		63						88		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	13,491		13,491		13,491		13,491			13,491
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	15,651		16,079		17,970		15,634		17,491		
	単位あたりコスト ÷		円	38,740		40,604		47,289		41,142		48,318		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	15,651		16,079		17,970		15,634		17,491			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%		100.0		活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%		47.8			
			例年どうりの旅費の見積もりに対して、実績が予想以上に少なかった。											
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			平成12年度清掃事業移管に伴う職員増員による旅費の増額が見込まれていたが、3年間の実績を踏まえた結果、約120万円程度の予算減額となった。また、事務用品の購入については、「課総括事務費」を新設したことによる、単価の抑制及び事務量の煩雑さの軽減ができた。このことは、他の事業費にも波及している。											

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度に清掃事業が移管され、組織改正により職員数が大幅に増加したため予算額（旅費）も増額することが見込まれた。平成14年度からは、用品基金の廃止に伴い再生紙を部で一括購入することとなったため、予算額（需用費）が増加した。
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	全職員にパソコンが設置され、情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進される一方で情報量が増加の一途をたどり、電子複写機（印刷機）への機能依存が高まる。17年度には会計システムが一新され、この影響がいかなるものか予測困難である。18年度の清掃事業完全移管に伴い、職員数が増え部内調整事務の増加が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由：環境清掃部の業務を円滑に遂行していくために必要不可欠である。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が自ら実施(理由)	理由：職員の個人情報に関する扱いがある。また、職員の連絡調整に部外者が携わるのは望ましくない。
	協働等は実現しているか 当面実現は困難である(理由)	理由または具体的内容：同上
	協働等の相手	
	協働等の主な形態	
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容：伝達系の会議はメールの活用等により縮減し、旅費の減額を図る。
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：職務遂行のための経理であるため。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容：事務用品の一括購入	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 伝達系の会議はメールの活用等により、縮減を図るとともに、電子複写機の使用については情報量の増大とあいまって使用料の増加が見込まれるため、ISOの環境マネジメントシステムによる使用ルールを遵守する。		
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民等の情報公開制度に直結する可能性のある文書については、用紙の裏面再利用が極力できない。それ以外の用紙については裏面再利用を徹底する。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 パソコンを活用した情報伝達が定着され、文書管理システムの稼働によりペーパーレス化が推進されるものの、多様化する情報量の印刷等については減ることが見込まれない。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境博覧会の開催				整理番号	681		枝番号	
担当部課名	環境清掃部環境課			コード	230101	連絡先電話番号	3715		昨年度整理番号	718
係名	環境都市推進担当				上位施策名				No	
予算事業名	環境先進都市の創造			コード	65500	環境施策の枠組みづくり				16
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 「杉並区21世紀ビジョン」推進プラン					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 すべての区民、団体、企業				(2) 環境基本計画					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 高井戸地域区民センターを主な会場として、毎年10月開催を基本に、区民、関係団体、企業、行政が協働して、環境についての理解を深め、日常生活や活動に結びつくような多様な企画内容からなる環境イベントを開催する。				(3)					
	活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 環境に配慮する理念を共有し、区民・事業者、行政が協働することにより、環境配慮行動を広く地域に定着させる。					
(1) イベント参加者数 (2) 参加・協力団体数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) イベント参加率(参加者 / 区人口) (2) (代)参加・協力団体数						
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人	11,587	16,119	20,000	16,500	20,000		
	活動指標(2)		数	77	120	80	133	100		
	成果指標(1)		%	2.23	3.09	3.83	3.15	3.81		
	成果指標(2)		数	77	120	80	133	100		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	10,636	19,234	10,000	9,845	10,000	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 区人口 平成14年度522,394人 平成15年度524,278人 (各年10月1日現在、外国人登録を含む)	
	(内)委託費		千円							
	職員数(正規 非常勤)		人	2.50	2.80	2.80	3.23	3.20		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	22,485	25,183	25,183	29,051	28,781		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	33,121	44,417	35,183	38,896	38,781		
	単位あたりコスト ÷		円	2,858	2,756	1,759	2,357	1,939		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引: 一般財源 -		千円	33,121	44,417	35,183	38,896	38,781			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	82.5	活動指標(2)の15年度達成率%	166.3	15年度予算執行率%	98.5	出展企画の経費は、企業、団体の協力によってまかなう等経費面についても役割分担による協働を進めている。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		15年度から実行委員会の下に設置した作業部会にも企画・運営の区民参加をすすめ、協働型の博覧会運営を行っている。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「環境先進都市すぎなみ」の創造へ向けて、平成13年度から開催した。平成14年度は、杉並環境フェア2003、第8回リサイクル・アイデア作品展とも共催し、国際環境フォーラムを中心に開催した。平成15年度は、区民、事業者との協働をさらに進め、企画立案段階から多数の区民等に参画していただき博覧会を運営した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	企画・内容・規模とも、他の区市で開催されている環境関連イベントと比較して、大変充実したものである、との評価を参加・協力団体や他自治体から受けている。イベント事業に対する経費削減意見も若干ある。
	今後の予測	より区民・民間主導の事業として展開していく必要がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 環境配慮理念の共有化や協働意識の醸成を推進する事業であり、「環境先進都市すぎなみ」の創造のため、大きく貢献するものである。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等と行政がともに主体として実施(^)	理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	理由または具体的内容: NPO、ボランティア、企業、行政による実行委員会方式で、博覧会を企画段階から運営している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 実行委員会・協議会(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: ITを活用した事業展開も考えられるが、IT環境構築経費、維持経費がかかり、費用対効果を考えるとリスクが大きい。	
成果向上のための方策		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 参加している企業等からは設営に係る経費を出展料として徴収している。また、参加各団体のそれぞれの展示物等の製作経費は各団体の負担であり、すでに相応分の負担も行われている。また、環境博覧会は来場者から入場料を徴収する性格のイベントではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: 参加団体・企業等から協賛金を募るなどの方法により、区としての支出を下げる余地はある。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 規模の縮小、テーマの絞込みなど、博覧会のあり方を含め、平成18年度からは区民・民間団体で構成される実行委員会が、実質的に博覧会を企画・運営できるよう検討を進める。		
17年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 主体的に博覧会を運営できる中心的団体の不在		
	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 屋内、屋外施設を合わせ持った大きなイベント会場として、毎年高井戸地域区民センターで開催している。支出経費の多くは、会場設営経費、広報経費、警備等運営経費、であり、必要不可欠な経費となっている。講演会、アトラクション等の催事費は約3割弱である。イベントの充実度は、企画内容によるものが大きい。経費的には現状維持としたい。また、区民参加の実行委員会を運営するにあたっての、担当職員数も現状維持としたい。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境保全対策の推進				整理番号	682		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	719		
係名		庶務係			上位施策名				No			
予算事業名		環境保全の推進		コード	65900	環境施策の枠組みづくり				16		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 45 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 杉並区環境基本条例 (2) 杉並区環境基本計画 (3)							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民一人ひとりの環境問題に対する関心度											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境施策の報告と問題提起としての環境白書の発行。 環境保全意識の普及啓発の手段としての環境パネル展。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境問題への意識啓発及び高揚							
	活動指標名(式) (1) 環境白書の発行部数 (2) パネル展開催数、貸出回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)							
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
							計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		部	700	800	800	800	800				
	活動指標(2)		回	3	2	2	0	2				
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,571	4,286	3,218	1,947	739	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円		1,911	1,000	388					
	職員数(正規 非常勤)		人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,994	8,994	8,994	8,994				8,994
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 + +		千円	10,565	13,280	12,212	10,941	9,733				
	単位あたりコスト ÷		円	15,093	16,600	15,265	13,676	12,166				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	10,565	13,280	12,212	10,941	9,733					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%	0.0	15年度予算執行率%	60.5	パネル展については、平成15年10月の「環境博覧会」、16年2月の「プレ環博」を開催した際に、環境に関するパネル展示をおこなったため、改めてパネル展を開催することはしなかった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		環境白書は、本編と資料編の2分冊の構成で隔年刊行に変更し、見やすくわかりやすい冊子にした。また、環境月間における啓発事業については、「プレ環博」において実施できた。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	環境・公害に対する区民の意識は時代の変化とともに大きく変わり、身近な環境問題から地球規模の環境問題にまで至っているため、啓発内容を時代の変化に合わせて変えてきた。 また、社会情勢の変化に対応するため、平成14年度には環境基本計画の改定を行った。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	環境講座等により幅広い啓発活動や、区民の環境問題学習の場が求められている。 また、平成11年度で中止したホテルの繁殖事業については、復活要望が強い。
	今後の予測	環境の世紀にふさわしく、区民・事業者・行政に一層の環境配慮行動が求められている。また、自然生態系の復元に対する要望が強まると考えられる。すぎなみ環境情報館を活動拠点とした環境ライブラリーの運営や、環境活動の充実等環境基本計画の達成に向け、3者(区民・事業者・行政)の協働が重要視される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか <input type="text" value="貢献度 大(理由)"/>	理由：環境白書は、データを豊富に盛り込み引き合いが多い。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は <input type="text" value="行政が自ら実施(理由)"/>	理由：環境問題は、国・都レベルの施策に負うところが大きい。啓発事業は、区民一人ひとりが問題を足元から認識し、生活を見直してもらうきっかけとなる必要があるため、身近な自治体が行う必要がある。
	協働等は実現しているか <input type="text" value=""/> 協働等の相手 <input type="text" value=""/> 協働等の主な形態 <input type="text" value=""/>	理由または具体的内容：
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか <input type="text" value="ある程度できる()"/>	理由または具体的内容：環境博覧会や環境情報館でのパネル展による情報提供は、積極的に区民への動機付けの役割を果たす。
	(4) 受益者負担の見直し余地は <input type="text" value="ない(理由)"/>	理由：白書の配付は、杉並の環境の現状や問題提起を行い、パネル等による情報提供は、多方面の区民に環境問題の理解と行動の動機付けの役割を果たす。なお、環境白書は環境基本計画の進捗状況を区民に報告するものでもあり、現時点では無料配布が望ましいと考える。
(5) コストを下げる余地はあるか <input type="text" value="ない(理由)"/>	理由：今後の白書の編集方針の検討、印刷の方法等を考慮すると、区民へのアピール力ある白書作りをするには、現在のコストでは厳しいが、事業手法の転換により成果を向上させる必要がある。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等： <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 改定した環境基本計画の達成に向けて、進捗状況等を区民が理解できる報告書について検討して行く。		
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 現時点においては、新たな環境保全意識の普及啓発手法が見出せないため。		

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並環境ライブラリー				整理番号	686		枝番号	
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3709		昨年度整理番号	
係名					公害対策係			上位施策名	No	
予算事業名					環境保全の推進			コード	65900	
					環境施策の枠組みづくり				16	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		15年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 大気汚染防止法			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 悪臭防止法			
	環境調査結果、化学物質などの環境情報を広く提供するため、環境ライブラリーを維持管理する。						(3) 東京都環境確保条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				化学物質に関するものを中心に、その他身近な環境問題に関する情報を集め提供している。内容としては、有害化学物質に関するデータベース、書籍、調査結果など、年間を通して更新・収集している。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 平成16年度開設の環境情報館事業として実施する。より広い一般利用のため、内容の充実に努める。			
活動指標名(式)						成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				
(1) 化学物質データベース更新回数						(1)				
(2)						(2)				
区分	単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度計画	目標値		目標値に対する15年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		回			3	3	3		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,310	2,331	2,310	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円			2,310	2,310	2,310		
	職員数(正規 非常勤)		人			3.00	3.00	3.10		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	26,982	26,982		27,881
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +		千円	0	0	29,292	29,313	30,191		
	単位あたりコスト ÷		円			9,764,000	9,771,000	10,063,667		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	29,292	29,313	30,191			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	100.9	年3回の環境情報データベースの更新のほか、資料図書の収集などを行う。		
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		環境情報館で環境情報を提供するため、より内容を充実させる。								

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	インターネット環境での情報提供を予定していたが、環境情報館内での利用に限定されている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	より内容を充実させ、操作の容易なデータベースとして、利用したい。
	今後の予測	インターネット利用による情報提供が一般的になり、区民は必要な情報を手軽に入手できる。そのため、行政がこのようなデータベースを運営する必要はなくなった。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由: 情報提供の手段として有効ではあるが、インターネット環境が一般的になっており、区民は家庭にいても必要な情報を得ることができる。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は NPO・企業等が主体、場合により行政が協力(^)	理由: 民間の幅広い活動として、情報提供などもNPOが主体となることが本来の姿といえる。
	協働等は実現しているか 実現していないが今後可能性がある(具体的内容)	理由または具体的内容: 環境情報館運営もNPOに委託しており、今後も、その事業の一環としてする。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 新しい情報の収集、区民の提供に答えるための人的資源など、NPOの活動として、使う人の身になった運営を実施する。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 資料のコピーサービス費用など、利用者負担とする。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: (3)と同じ	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境情報館事業の一環として、NPOが運営する。			
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性			<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 インターネットによる情報収集が一般的になり、行政として環境ライブラリーを運営する必要はなくなったため、廃止する。			

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境審議会運営				整理番号	691		枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	727		
係名 庶務係					上位施策名				No			
予算事業名 環境審議会運営					コード	65300		環境施策の枠組みづくり			16	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				9 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				(1) 環境基本法第44条							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民 区議会議員 学識経験者から計15名以内				(2) 杉並区環境基本条例 杉並区環境審議会設置要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の付属機関として、区の環境保全に関して必要な事項を調査審議する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の環境行政に関し、区民等の意向を区政に反映させる。							
	活動指標名(式) (1) 環境審議会の開催回数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 委員の出席率 (2) 審議・報告案件数							
区分		単位	13年度実績		14年度実績		15年度		16年度計画	目標値	目標値に対する15年度の達成率%	
					計画	実績		計画	年度			
指標	活動指標(1)		回数	6	7	6	5	6				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	88	85	100	89	100				
	成果指標(2)		件	49	60	40	57	40				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,135	2,290	1,986	1,167	2,674	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年度の事業費は、清掃審議会との統合により増額となっている。			
	(内)委託費		千円		437	546	375	648				
	職員数(正規 非常勤)		人	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,095	8,095	8,095	8,095				8,095
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				0
	総事業費 ++		千円	9,230	10,385	10,081	9,262	10,769				
	単位あたりコスト ÷		円	1,538,333	1,483,571	1,680,167	1,852,400	1,794,833				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				0
差引:一般財源 -		千円	9,230	10,385	10,081	9,262	10,769					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	83.3	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	58.8	特に諮問する重要事項等がなく、予定していた開催回数に至らなかったため残額がでた。			
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			区長から諮問を受けた、「放射5号線建設事業に係る区長意見」については、真剣な議論が交わされ4月に答申を出し、区政運営の大きな力となった。また、「外郭環状道路に係る区長意見書」についても、審議会の意見が付記された。									

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成8年に策定した「環境基本計画」を平成15年に改定し、同年、新たに「地域省エネルギービジョン」を策定するなど、新しい事業を展開し、環境先進都市を目指したさまざまな課題への取組みを推進した。「環境基本計画」を改定した際には、審議会に部会を設置し、環境基本計画のあり方についての答申を出すなど、改定に重要な役割を果たした。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	近年、区民の意見・要望・苦情は、迷惑行為の防止や近隣公害の解決、環境美化の推進に関するものが多くなってきている。一方、大気汚染対策や地球温暖化防止に関して、区に先導的役割を期待した意見等もある。21世紀を迎え、区民の環境問題に関する関心はますます高まりを見せている。
	今後の予測	地域の問題から地球規模の環境問題に発展している今日では、区民の関心はますます高まる一方で、審議会の役割も重要度を増すものと考えられる。特に温暖化対策などに関する施策を実施する場合には、区民の協力を得なければ実施できないものなどが予想される。これらを解決するに際し、審議会の意見は区政にとってさらに大きな意味を持つこととなる。また、新たな施策についての検討や環境基本計画の進捗状況を検証する機関としての役割が重要となる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)		理由: 区の環境施策を進める上で、重要な課題を審議している。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)		理由:
	協働等は実現しているか 十分に実現している(^)		理由または具体的内容: 各種環境団体等からの推薦を受け、委員を委嘱している。
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)		
	協働等の主な形態 その他(具体的内容)		
	(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()		理由または具体的内容: 報告案件を調整し、重要な審議事項については、十分な時間(開催回数)を設け議論する。
成果向上のための方策 その他(具体的内容)			
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)		理由または具体的内容: 事業の意図は、区全体の環境保全や快適環境の維持を目的としているものであり、特定の個人や団体に受益が偏るものではない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ある [事業の統廃合] (具体的内容)		理由または具体的内容: 第2次行財政改革実施プランに基づき、環境・清掃審議会を発展的に統合する。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減 成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境審議会と清掃審議会の今後のあり方について見直しをした結果、統合する結論を得た。区の環境清掃行政を進める上で重要な課題を諮問し、調査審議を行って、多方面からの意見を区政運営に反映させていく。また、審議会運営を活気あるものとするため、改選時には随時委員の構成についての見直しを行っていくとともに、環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画を実効性のあるものとするための検討を行う。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 「ごみ半減プラン」に対して、専門部会を設置し具体的な検討に入る。

平成16年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境マップ			整理番号	709		枝番号					
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	3715		昨年度整理番号	748		
係名				環境都市推進担当係				上位施策名		No			
予算事業名				環境配慮行動の拡充		コード	65760		環境施策の枠組みづくり		16		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		15年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		(1) 環境基本計画						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)						
	すべての区民及び国民				(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
紙ベースで蓄積していた区の環境情報を電子データ化し、インターネットで広く区民及び国民に提供する。				区民が環境情報を容易に取得できるようになり、区民自らが取り組む環境配慮活動の一助となる。									
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 目次項目数				(1) アクセス数									
(2)				(2)									
区分		単位	13年度実績	14年度実績	15年度		16年度		目標値		目標値に対する15年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度				
指標	活動指標(1)		個			17	17	17					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		件					20,000					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			5,199	5,187	200		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 15年度事業費には、「電子計算組織運営」事業からの3,699千円の支出経費を含む。			
	(内)委託費		千円			5,199	5,187	200					
	職員数(正規 非常勤)		人			0.10	0.10	0.01					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	899	899	90					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	0	6,098	6,086	290					
	単位あたりコスト ÷		円			358,706	358,000	17,059					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	6,098	6,086	290						
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0						
15年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の15年度達成率%	100.0	活動指標(2)の15年度達成率%		15年度予算執行率%	99.8					
前年度の改革案の取り組み状況 (16年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			「環境マップホームページ」の構築を終え、環境データの更新作業の効率化を図る。										

平成16年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	16年4月の開設から多数の方からのアクセスを受けている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	16年4月の開設から多数の方からのアクセスを受けている。
	今後の予測	インターネット利用による情報提供が一般的になり、区民は必要な情報をインターネットから手軽に入手するようになってきた。 そのため、より内容の充実したホームページの運営が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 環境情報を広く提供する手段として有効。
	(2) NPO・企業等との役割分担(協働等)のあるべき姿は 行政が主体、NPO・企業等が協力(^)	理由: 環境マップホームページの維持にあたっては、専門業者に委託してその機能の充実を図っていく。
	協働等は実現しているか 一部実現している(^)	理由または具体的内容: 専門業者によるメンテナンスを取り入れながら、行政による運営を行う。
	協働等の相手 企業・個人事業者(^)	
	協働等の主な形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	
(3) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容: 提供データの項目の追加などを検討し、より充実した環境マップとしたい。	
成果向上のための方策 その他(具体的内容)		
(4) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 区公式ホームページによる情報提供なので受益者負担はない。	
(5) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: データ修正等メンテナンス経費のみの計上となっている。	

今後の事業のあり方(中長期)	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄	
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 適切なデータ更新、追加データ項目の検討など、より内容を充実させた環境マップとしたい。			
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法				
17年度方針	(1) 17年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし		
	(2) 理由 適切なデータ更新、追加データ項目の検討など、より内容を充実させた環境マップとしたい。			